



院内公募から始まった嚥下プロジェクトで地域医療に貢献



医療法人錦秀会 阪和第二泉北病院では、院内公募から嚥下プロジェクトが始まり、2025年4月には5年目を迎えます。高齢者に多い摂食嚥下障害は誤嚥性肺炎や窒息など重篤な状態を引き起こす原因です。我々はこの障害に対し、早期に対応、フォローすべく嚥下障害関連の資格を持つスタッフを中心にチームを結成し、院内の取り組みはもちろん、地域を支える活動をグループ全体で進めています。

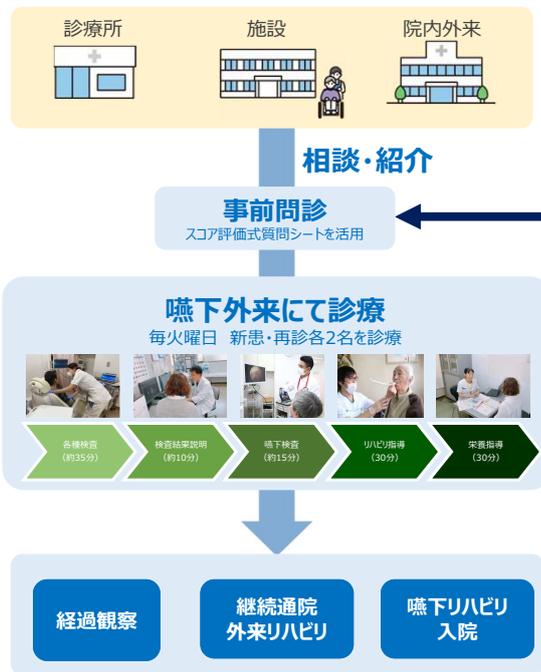
嚥下プロジェクトの具体的活動について

嚥下プロジェクトは嚥下チームのコアメンバーが中心となって、主に3つ（①嚥下外来②嚥下リハビリ入院③嚥下FT（ファシリテータ）の育成）の活動を運営しています。

① 嚥下外来について

嚥下外来では、嚥下検査からリハビリや栄養アドバイスまで一つのパッケージで行っています。一度の来院で検査からアドバイスまで完了しますので、患者さんにも好評です。

嚥下外来の流れと診療後の対応



質問紙 スコア評価式 阪和第二泉北病院

飲み込みのことを「スクリーニング」してください

氏名: _____ 年齢: _____ 身長: _____ cm 体重: _____ kg

① 回答者: 本人・家族・その他 ()

	A (4点)	B (3点)	C (0点)
1. 嚥下と診断されたことはありますか?	<input type="checkbox"/> 繰り返す	<input type="checkbox"/> 1度だけ	<input type="checkbox"/> ない
2. 吐きけましたか?	<input type="checkbox"/> 頻りに	<input type="checkbox"/> 時々	<input type="checkbox"/> ない
3. 食物が飲み込みにくいと感じることはありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
4. 食事中に吐くことはありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
5. お茶を飲むと吐きけたりすることはありませんか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
6. 食前や食後、口の辺りが乾く感じがする（口内乾燥）はありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
7. のどに食べ物や飲み物が残ることがありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
8. 嚥下の際に痛みが感じられますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> 時々	<input type="checkbox"/> ない
9. 嚥下の際に熱く感じられますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> 時々	<input type="checkbox"/> ない
10. 口から食べ物が出てくることはありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
11. 口の中や食べ物や飲み物が残ることがありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
12. 食物や飲み物を飲み込む時にむせてしまうことがありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
13. 嚥下の際に咳が頻りに出たり、つばを吐き出すことがありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
14. 夜、寝て喉が乾いたり、目覚めることがありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> ときどき	<input type="checkbox"/> ない
15. 呼吸が苦しく感じることがありますか?	<input type="checkbox"/> はい	<input type="checkbox"/> 時々	<input type="checkbox"/> ない

計算方法 (A)×4点 + (B)×3点 + (C)×0点 = 〃 × 4 = 〃 × 3 = 〃 × 0 = 〃

合計(A+B+C) = 〃 点

結果 (0点) 評価

8点以上 医師1階の飲み込みがあります。 阪和第二泉北病院「嚥下外来」の受診をすすめます。主治医と相談の上、嚥下外来の受診をお願いします。

4点以上 オールブレイン（脳と舌の機能）の両方にあります。嚥下検査など、飲み込みのトレーニングを行う。嚥下外来の受診をすすめます。

質問シートを引用



現在、当院では嚥下外来受診者の事前問診用として活用していますが、嚥下外来に関わるどの職種の方からも「わかりやすい」といった声をいただきます。この質問シートは日本で開発されたものなので、質問の意味も理解やすく、共通言語としてどの職種の人にも使いやすいのだと思います。また、ご家族や介護者などによる観察式での実施も可能ですので、活用の幅も広がります。今後は入院時や入院中の定期評価、一般の外来にも活用できれば、と考えています。



嚥下チームリーダー 垣内 公允 先生

② 嚥下リハビリ入院について

4週間の嚥下に特化した入院プログラムです。PT、OT、STによるリハビリテーションや歯科衛生士による口腔ケア、患者さん本人が自ら嚥下関連グッズを用いる自主練習のフォローなどを手厚く、集中的に実施します。外来でもリハビリは行いますが、それだけでは不十分な場合の選択肢として用意しています。嚥下リハビリ入院では、退院後も自身で継続できるようなプログラムも取り入れています。

③ 嚥下FT（ファシリテータ）の育成

嚥下外来やリハビリ入院より一足早く取り組んでいるのが、嚥下FTの育成です。各職種が有する専門性に嚥下のスキルをプラスすることを目標に約1年間、嚥下のことを学ぶ病院独自の認定制度です。

- ・嚥下の基礎を学ぶBasicコース、より実践的なAdvanceコースから構成されています。
- ・毎年4月に職種不問で公募します。
- ・5月～1月に受講、3月の認定試験を経て、認定証とバッジを進呈します。

3年目からはグループ病院にも公募を行うようになりました。4年の累計で84名（9職種）の認定者を輩出しています。修了後は、各職場で嚥下アドバイザーとして活躍しています。中には認定看護師など、公的資格の取得を目指している方もいらっしゃいます。



受講者数（人）と職種数の推移



薬剤部主任 橋本 祐子 先生

講義は嚥下チームのメンバーが中心で、外部講師や修了者が講師を務めることもあります。今後は、高齢化、多剤併用とともに増えている薬剤性嚥下障害など、嚥下を取り巻く環境変化にあわせて、講座内容やカリキュラムも随時更新していこうと考えています。

嚥下チームの今後の活動について

3つ（①嚥下外来②嚥下リハビリ入院③嚥下FTの育成）の活動継続・拡充に努め、早期から重度に至るまで幅広く摂食嚥下障害に関わっていきます。

当院の活動や取り組みを広く認知いただき、多職種・地域との連携を推進します。

活動詳細はコチラ ⇒⇒⇒



嚥下チームの皆様